

平成24年度東海地区国立大学法人等中堅職員研修

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-03-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 太田, 諭之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007116

平成 24 年度東海地区国立大学法人等中堅職員研修

太田諭之

静岡大学技術部 情報支援部門 情報管理グループ

研修名	平成 24 年度東海地区国立大学法人等中堅職員研修
研修内容	自立的な中堅職員の立場と認識及び役割遂行のマネジメントスキルの向上を図り、今後の自己啓発目標設定を行う
期間	平成 24 年 8 月 27 日（月）～28 日（火）
会場	浜松医科大学（静岡県浜松市東区半田山）
受講機関	国立大学法人、大学共同利用機関法人 など 20 機関

1. はじめに

平成 24 年 8 月 27 日（月）～28 日（火）に浜松医科大学にて開催された、平成 24 年度東海地区国立大学法人等中堅職員研修を受講したので報告する。大学、研究所などの職員、合計 70 名の参加があった。

2. 研修内容



図 1 研修の様子¹

紙面の関係上、1 日目の主な研修について記す。まず、受付を経て、オリエンテーション、開講式が行われた。関係者のあいさつの後、参加者それぞれの自己紹介が行われた。そして、各班に分かれ「今、私たちに求められる行動」についての議論が行われ、各班が発表を行った。主な発表内容については下記の通り。

・社会からの期待と要請（環境変化考察）

少子化、高齢化、国際化、予算の削減、運営費交付金の年 1%削減、内部における人事異動、モチベーション、重点分野の変化、円高・震災による財源について、学年暦の見直し

¹研修実施機関（株）マネジメントサービスセンター 講師より撮影の許可を頂く。

・組織が期待する立場と役割（キャリア考察）

地域貢献・連携、リーダーシップをとる、滞りのない業務、業務の効率化、効果が明確な研究の実施、部局を超えた組織の潤滑油、グローバル人材の育成

・求められる問題解決能力

上司としてサポートすること、資金用途の教員への説明、仕事の見直しスリム化、新しい風、産官学連携についてなどが挙げられた。

休憩を挟み、午後からは、職場の改善活動について各班のメンバーと検討した。筆者の班では、業務の統一化や今後に残しておく為に、業務のマニュアル化について検討した。最後に、発表／質疑応答があり講師のフィードバックがあった。

2日目は、チームワークとコミュニケーションについて学び、各班のメンバーの違いと強みを生かして役割を分担する事を実践のゲームを通して学んだ。午後は、仕事を通じての自己成長について学び、PBI 診断で個人診断を行い、グループで共有した。

○ 中堅職員研修日程

研修目的：中堅職員としての役割認識と、職務に必要な知識及び能力を付与することにより法人職員の資質の向上と職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。

研修内容：自立的な中堅職員の立場と役割の認識及び役割遂行のマネジメントスキルの向上を図り、今後の自己啓発目標設定を行う。

対象者：勤務経験5年以上の主任及び事務職員

参加人数：70名

会場：浜松医科大学 管理棟第一会議室及び第二会議室

平成24年度東海地区国立大学法人等中堅職員研修日程表

月日	時間	8時 30分	9時 00分	9時 30分	12時 13時	17時 15分
8月27日(月) 第一日目	受付	オリエンテーション	開講式	<コースオリエンテーション> 1. 今、私たちに求められる行動 (1) 社会からの期待と要請(環境変化考察) (2) 組織が期待する立場と役割(キャリア考察) (3) 求められる問題解決能力 2. 問題解決の基本 (1) 問題とは？ (2) 問題解決のステップ (株) マネジメントサービスセンター	休憩	3. 職場の改善活動 (1) 個人研究 (2) グループ研究 (3) 発表準備 (4) 発表／質疑応答 (5) 講師フィードバック (株) マネジメントサービスセンター
8月28日(火) 第二日目	受付	4. チームワークとコミュニケーション	(1) 多様性の尊重<SAM コンセプト> (2) メンバー間の違いの把握と活用 ・基本姿勢 ・能力 ・モチベーション (3) 協働やチームワークの効果性の向上 ・演習実施 (株) マネジメントサービスセンター	休憩	5. 仕事を通じての自己成長 (1) 自己理解の重要性 (2) PBI 診断の実施 ・解説 ・個人診断 ・グループ共有 & アドバイス ・各大学での職場の現状について意見交換 ・講師フィードバック 6. 職場実践計画～研修総括 (株) マネジメントサービスセンター	閉講式

9:00 12:00 13:00 17:00 17:15

図2 タイムスケジュール

2. 研修に参加して

前回は、平成20年度東海地区国立大学法人職員基礎研修（平成20年5月22日～23日：名古屋大学（名古屋市千種区不老町））に参加した。この研修では、仕事の仕方から挨拶など言葉の使い方までを学んだが、今回の中堅職員研修では5年以上の勤務経験がある職員を対象としており、参加者は職場についてよく精通しており、仕事の進め方についても各自深い理解をしており、更に自分に合った仕事の方法を相手とうまく連携して優れた成果を出すための実践的な研修であると感じた。

また、参加者の多くは各大学の事務職員であり、予算の削減、部署を超えた協力について自らの職場から生の声として、活発な議論が交わされ、大いに刺激を受けた2日間であった。これから、私の所属する部署でも活かしていきたいと考えております。講師の方々、参加者の皆様、そして受講の機会を与えて下さった関係者の方々に厚く御礼申し上げます。